



アカデミックフェローの黒川清博士が平成23年度春の叙勲で旭日重光章を受章

検索

kouhou / 2011年8月3日 / No comments / Edit

本学アカデミックフェローの黒川清博士が平成23年度春の叙勲で旭日重光章(i)を受章されました。



広報：旭日重光章受章おめでとうございます。まずは受章が決まったときのお気持ちを聞かせ下さい。

黒川先生：春の叙勲受章ですね。自分がこのような章を受けるとは思っていませんでしたから、やはり驚きました。叙勲受章は毎年春と秋ですが、今年の春は震災の影響で発表が遅くなりました。土曜日の新聞に掲載されたので(ii)、仕事の関係者から祝辞が来たり連絡があったりしたのは、多くが月曜日でした。

勲章受章者は、各章ごとにあいうえお順に掲載されています。桐花大綬章を受章された海部元首相につづき旭日大授章などを授章された主に政治家が6人ほど続いて、旭日重光章受章者の中では私の名前が一番に出ていましたね。単にア行とカ行の「カキ」の名前の方がおられなかったからです。

広報：ご自身は受章の理由を何だとお考えでしょうか。

黒川先生：日本学術会議の会長(iii)をつとめたからでしょうか。日本学術会議をまったく新しい法律の下にまとめるときの会長でしたし、新しい組織になったときに女性会員が20%になりましたし。安倍・福田両内閣で特別顧問(iv)を勤めたことも影響してるかも知れない。この辺はまったくわかりません。全部、推測です。

ただ、日本学術会議の長としての仕事を評価されて受章となると、内閣府から推薦されるのでしょうか。細かいことはわかりませんが、このような制度は各省庁を通して推薦されるのでしょうか。私のような主として大学関係のキャリアの場合は多くは文部科学省から推挙される、その貢献は瑞宝章(v)というカテゴリーになるのでしょうか。そういう仕組みの中で、どちらかといえば私の「日本社会の由緒正しい」キャリアからは外れていますし、特に海外の大学で15年も過ごしてキャリアを積んでいたわけですから、ちょっと日本のキャリアの功績の標準には合わないのです。だから発表を見て旭日重光章というので、ちょっと驚いたんです。本業は大学の教員だから、大学教員として評価されるのだらうと考えましたし、そうすると文部科学省の推薦を受けて瑞宝章のカテゴリーというのが自然ですから。旭日章は政治家や財界人が受章することが多いようですね。

最近の投稿

アカデミックフェローの黒川清博士が平成23年度春の叙勲で旭日重光章を受章

新任教職員の顔ぶれ(アンケートより)

2011年8月～9月の予定

教員の新着紹介

節電対策について

教員のメディア情報

教員懇談会

日本語スピーチ

大学紹介DVD最新版が完成しました

ハラスメントの防止について

GRIPS CULTURE DAY

GRIPS in the Media 開始!

2011年7月～8月の予定

学位記授与式(開発政策プログラム6月修了生)

フィールドトリップ報告

フィールドトリップ 学生さんから頂いた写真

科研費講演会 in GRIPS

文部科学省科学技術政策研究所(NISTEP)との調印式

カテゴリー

全学情報

国際交流・地域交流情報

大学運営局からのお知らせ

GRIPSスケジュール

人事異動・職員紹介

学内向けイベント情報

セミナー

学生・修了生情報

GRIPS International House

フィールドトリップ

同窓会

学生インタビュー

教員情報

ぐりぐりGRIPS » アカデミックフェローの黒川清博士が平成23年度春の叙勲で旭日重光章を受章

広報:黒川先生はお医者様ですが、若者が世界へ出て行くために様々な活動をされたり、働く女性ももと良い環境で働けるように支援をされています。若者や女性の支援を始めようと思ったきっかけは何かでしょうか。

黒川先生:この20-30年の日本社会のあり方と世界の変化を見てみると、これからは若者と女性に活躍の場を広げないと、日本の将来は極めて危ういと思っているからです。今実権を握っている「おじさん達」は駄目。90年代初めまでは、大学を出て、終身雇用、単線路線、年功序列の「タテ社会」に体现される男性中心の組織や社会で成功したかに見えていた。でもそれはその時代の世界の枠組みがそれでも都合がよかつただけです。バブルが崩壊して、本当はこの20年のグローバル世界に適応するように色々な仕組みを変えられなかった。だから日本は世界の変化について行けず、どんどん弱くなっている。

広報:若者を応援して手応えはありますか。今の若者は内向きだと言われますが、先生のブログを拝見していると全然内向きではないようです。

黒川先生:内向きというのは間違いです。今の若い子たちは、20年前のバブル経済破綻後ですから、子供の時から親や先生達からあまり明るい話を聞いたことがないのです。海外に出て行こうとか、今と別の世界があるとか、親も先生たちも誰も彼らを勇気づけたりしてこなかった。

今の大学生は平成元年から四年生まれくらいだけど、親は45歳~55歳くらい、バブル経済がはじけた後の社会を生きてきました。だから、子供は生まれたときから良い話を聞いたことがなくて、親たちの多くも自信を失っている。女性の就職難はバブル崩壊後の平成3年から、男性は平成5年から始まった。女性の総合職、特に子供のいる人たちはバブル崩壊後にずいぶん会社を辞めていると思う。だから子供を勇気づけるなんてどころじゃない。

広報:女性はどうでしょうか。

黒川先生:日本の社会、組織では女性にとっての「ガラスの天井」はかなり低いところにある。だから能力ある女性は自分でがんばって、独立した人間としてキャリアを積んでいくことになる。日本では一つの組織に止まりにくい。男性は結局組織の中に留まり、年功序列で昇進していく。東大を出た優秀な人が役所や大企業で10-15年働くうちに、どんどん枠にはめられて関連性が失われて行く。

先日昭和女子大で女子大生、2000人近くに講演をしたけど、反応が良かった。立場も肩書きもある人はどちらかといえば「出来ない理由」を考えてしまう人が多いから、講演しても時間の無駄だということも多いけど、これからのキャリアを作っていく人たちに話をするのはとても楽しいし、反応も良い。

広報:先生からご覧になったGRIPSはどうでしょうか。

黒川先生:学生の7割が外国人という日本では非常にユニークな大学で、色々なタイプの教員もいる。もっとグローバルに物事を見るグローバルにキャリアを積んできた人、教員が増えるといいと思う。アフリカ諸国からの学生も一定数おり、貴重な財産だ。もっと大学をPRして、ユニークな個性を持った大学だと広く認識されるようになれば、文部科学省の方ばかり向いて仕事をしなくて良くなるだろう。大学の正門前にある案内にしろ看板にしろ、日本語で書いているとか、日本語のほうがサイズが大きいようでは、道のりは長いかなと思うし、GRIPS内部の人のマインドが世界の大学の趨勢について行っていないのではとも思う。

今後発展していく様々な可能性を持っていると思うけど、それを本気で活かす気があるのかなともいえない。

広報:受章を受けて今後の活動について教えて下さい。

黒川先生:15年のアメリカ生活から帰国して27年、その間に私の言っていること、発信していることはほとんど変わっていない。好きなことを言って、単線路線組織から外れて生きて来たけど、この受章によって評価された。日本式から外れてきたことはよいことだった、と世間から評価されたとも言える。これからはもっと発信していきたいよ、というお墨つきをもらったとも言える。そのうち時代が追いつくだろうと思って、日本が急激に変化していく世界に対応していけるよう、発信し続けていきたい。日本人がいやだと思っても「鎖国」ではいられませんからね。

(i) 旭日章の一つ。「国家又ハ公共ニ対シ勲績アル者」に授与すると定められ(勲章制定ノ件2条1項)、具体的には「社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与する」とし、内閣総理大臣などの職にあって顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与される(「勲章の授与基準」)。

(ii) 6月17日閣議決定、翌18日の新聞で発表

(iii) 平成15年7月~18年9月 学術会議会長を務める

(iv) 内閣特別顧問(科学、技術、イノベーション担当)

(v) 瑞宝大綬章、瑞宝重光章、瑞宝中綬章、瑞宝小綬章、瑞宝双光章、及び瑞宝単光章の6つのカテゴリがある。「国家又ハ公共ニ対シ積年ノ功勞アル者」に授与され(「勲章制定ノ件」)、国及び地方公共団体の公務又は公共的な業務に長年にわたり従事して功勞を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与される。

教員のメディア情報

教員インタビュー

教員著書

研究助成情報

東日本大震災関連

海外訪日研修

カテゴリー

セミナー フィールドトリップ 人事異動・職員紹介 全学情報 同窓会 国際交流・地域交流情報 大学運営局からのお知らせ 学内向けイベント情報 学生インタビュー 学生・修了生情報 教員のメディア情報 教員インタビュー 教員情報 教員著書 東日本大震災関連 海外訪日研修 研究助成情報 GRIPSスケジュール GRIPS International House

アーカイブ

2011年8月 (6)
2011年7月 (6)
2011年6月 (5)
2011年5月 (1)
2011年3月 (10)
2011年2月 (6)
2011年1月 (4)
2010年12月 (6)
2010年11月 (12)
2010年10月 (7)
2010年9月 (10)
2010年8月 (1)
2010年7月 (8)
2010年6月 (13)
2010年5月 (5)
2010年4月 (13)
2010年3月 (3)
2010年2月 (3)
2010年1月 (5)
2009年12月 (7)
2009年11月 (2)

ブログロール

GRIPS HP

GRIPS Portal

【国際交流・広報課】